

●各施策で想定される主な推進主体

◎：主に実施する推進主体

○：連携して実施する推進主体

柱	観光振興の方向性	推進主体				
		県	市町	県民	観光関係事業者	観光振興団体
1 滞在型観光コンテンツの充実等による 観光まちづくりの推進	(1) 文化や食などの地域資源を活用した観光コンテンツの充実					
	①文化観光の推進	◎	◎		○	◎
	②食を生かした観光の推進	◎	◎		◎	◎
	③スポーツツーリズムの推進	◎	◎		○	○
	④教育旅行の推進	◎	◎		○	◎
	⑤多様な体験型観光の促進	◎	◎		◎	◎
	(2) 大型プロジェクトを活用した観光まちづくり					
	①大型プロジェクトを活用した観光まちづくりの推進	◎	◎		◎	◎
	(3) 世界遺産と日本遺産の活用					
	①世界遺産の適切な保護や価値の発信	◎	◎		○	◎
	②世界遺産の次世代への継承や地域の活性化	◎	◎		○	◎
	③日本遺産の情報発信と活用	◎	◎		◎	◎
	(4) 観光まちづくりに向けた体制の強化と新たな需要への対応					
	①観光まちづくりを牽引する中核人材の確保・育成及び体制づくり	◎	◎			◎
②「新たな需要」への対応	◎	◎		◎	◎	
2 訪れる人に期待以上の満足を感じ させる「おもてなし」力の向上	(1) 長崎コンシェルジュの育成とネットワークづくり					
	①質の高いサービスを提供する人材の育成・質の向上とネットワークづくり	○	○		◎	○
	(2) 観光ガイドや宿泊施設等の人材の確保・育成					
	①観光ガイドの育成	○	○		◎	◎
	②観光関連産業の人材の確保・育成	◎	○		◎	○
	(3) ユニバーサルツーリズムの推進					
	①ユニバーサルツーリズムのワンストップ窓口の活用	◎	○		◎	○
	②ユニバーサルツーリズムの持続的な受入態勢の構築	◎	○		◎	○
(4) 総おもてなし運動の裾野の拡大						
①地域、県民、観光関係者等、行政が一体となったおもてなしの推進			◎			
3 安全・安心対策や観光産業の 高付加価値化の推進	(1) 安全・安心対策や高付加価値化等に取り組む事業者への支援					
	①安全・安心対策の情報発信	○	○		◎	○
	②宿泊施設の高付加価値化の推進	○	○		◎	
	③高付加価値化を図る取組への支援	◎	○		○	◎
	④感染症や災害などリスクに応じた観光客の安全・安心対策	◎	◎		○	○
	⑤犯罪のない安全・安心まちづくりの推進	◎	◎	○	○	○
	(2) 観光関連産業の経営体質の強化					
	①持続的な経営を維持する支援等	◎	◎		○	◎
	(3) 特定複合観光施設（IR）整備の推進					
	①IR整備の推進	◎	◎		◎	○
	(4) 富裕層の受入環境の整備					
	①富裕層を満足させる受入環境の整備	◎	◎		◎	◎

柱	観光振興の方向性	推進主体				
		県	市町	県民	観光関係事業者	観光振興団体
4 観光客のニーズやターゲットに応じた訴求力のある 情報発信と周遊観光の促進	(1) 観光客のニーズやターゲットに応じた施策の構築及び実践					
	① データの収集・分析の強化による施策の構築とプロモーション展開	◎	◎		○	◎
	② リピーター確保のための旅ナカでの情報発信	◎	○			◎
	(2) ウィズコロナ・ポストコロナ時代の旅の需要を捉えた戦略的な誘客促進					
	① 感染症の影響による旅行需要の変化を捉えた誘客促進	◎	◎		◎	◎
	② 県民の県内旅行の促進	◎	◎		○	◎
	(3) パブリシティ効果の高いイベント展開や広域連携・地域連携による誘客促進					
	① 大型プロジェクトの効果を活用した誘客促進	◎	◎		○	◎
	② 佐賀県との連携による誘客促進	◎	○			○
	③ 九州他県等との連携による誘客促進	◎	○			○
	(4) 離島観光の推進					
	① 離島地域における滞在型観光の推進	◎	◎		○	◎
	(5) Society5.0の実現に向けた先端技術によるサービスの向上					
	① 先端技術の活用による観光客の利便性の向上	◎	◎		○	○
	② デジタルトランスフォーメーション(DX)促進等の推進	◎	◎		○	○
	③ 先端デジタルテクノロジーを活用したマーケティングの強化等の推進	◎	◎		○	○
	(6) MICE誘致の強化と周遊観光の促進					
	① MICE誘致の強化	◎	○			○
	② MICE誘致による滞在時間や滞在日数の拡大と周遊観光促進	◎	○			○
	(7) 交通アクセス向上と県内周遊を促進する交通基盤の整備					
① アクセス向上による広域周遊観光の推進	◎	◎		○		
5 環境変化や市場動向を踏まえたインバウンド観光の推進	(1) ターゲット市場からの誘客とテーマ型観光の推進					
	① ターゲット市場の特性に応じたコンテンツの磨き上げによる誘客の推進	○	◎		○	◎
	② 海外との交流の歴史を生かした誘客の推進	◎	○			◎
	③ 旅行形態等の変化を踏まえた新しい旅の提案	◎	○		○	◎
	④ 観光展への出展や商談会の開催など現地活動の強化	◎	○		○	◎
	(2) 外国人観光客の受入環境の整備					
	① 二次交通の利便性向上による県内周遊の促進	◎	○		◎	○
	② ストレスフリーな受入環境の整備	◎	◎		◎	◎
	(3) 観光地としての認知度向上に向けた戦略的な情報発信					
	① 観光地としての認知度向上	◎	○		○	◎
	② 九州観光推進機構等との連携による情報発信	◎	○			○
	(4) 国際定期航空路線の維持・拡大、国際チャーター便の誘致					
	① インアウト双方での利用促進による定期航空路線の維持拡大	◎	○		○	○
	② 成長市場からの新規航空路線の誘致	◎			○	○
	(5) クルーズ客船の誘致や経済的な効果を高める取組の推進					
① 受入港の特色を生かしたクルーズ船の誘致	◎	○			◎	
② 経済的な効果を高める取組の推進	◎	◎		◎	◎	